

授業科目名【科目コード】 保育内容(造形表現) 【1245】	教員の免許状取得 のための必修科目	単位数 1単位	担 当 教員名	山本 泰三、松田 加代	対象 区分	すべて	—	—
科 目		領域及び保育内容の指導法に関する科目						
各科目に含めることが必要な事項		保育内容指導法(情報機器及び教材の活用を含む)						
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>領域「表現」のなかの「造形表現」に視点を当て、幼児の表現について理解を深め、豊かな感性や表現力を養うとともに、保育現場で必要とされる様々な画材、教材を用い実習、体験し、考察することによって、教員としての実践力を身につける。</p>								
<p>授業の概要</p> <p>幼児が初めて体験する集団の中で協調性を持てるか。逆に個性を出せずにストレスを感じないか。就学前の教育では、自分自身を集団の中できちんと表現していける力をつけることが大切である。そのためには幼児の身体的・精神的特徴を知る必要がある。そのうえで幼児の視点に立って、幼児教育者として相応しい感性を自らが身につける。幼稚園教育要領に即して「表現」領域を考察しつつ、特に幼児の生活周辺での造形表現についての実習、体験をし、さらに知識を深めるとともに、最終的には指導案の作成、模擬授業の実施まで柔軟な姿勢で個々の幼児への指導法について学ぶ</p>								
<p>授業計画(全回スクーリング)</p> <p>第 1 回:「幼稚園教育要領」の理解と領域「表現」のなかの造形表現とは。</p> <p>第 2 回:紙との出会い(新聞紙の活用、空き箱による創作)</p> <p>第 3 回:様々な描画材の表現方法の理解 (クレヨン、パス、水、絵の具、割り箸ペン、フェルトペン、鉛筆、色鉛筆などを使って)</p> <p>第 4 回:身近な素材や自然物の素材を利用した表現方法の理解 (木、樹、葉、花、木の実、泥土、砂、石、粘土、布、ひも、毛糸などを使って)</p> <p>第 5 回:転写による表現方法の理解 (スタンピング、デカルコマニー、フロッターージュなどの表現方法とローラーの使い方)</p> <p>第 6 回:遊びのなかの造形表現の実践 (箱遊び、ダンボール遊び、鯉のぼり作り、粘土を使ったパン屋さんごっこなど)</p> <p>第 7 回:指導案の仕組みの理解と作成</p> <p>第 8 回:模擬授業の実施と討議</p>								
<p>テキスト</p> <p>「幼稚園教育要領」(文部科学省) 「幼稚園教育要領解説」(文部科学省)</p>								
<p>参考書・参考資料等</p> <p>なし</p>								
<p>学生に対する評価</p> <p>表現活動の内容、指導案の内容、模擬授業等により総合的に評価する。</p>								
<p>持参物</p> <p>山本先生クラスのみ: ・先の太い(4-5mm以上) 顔料系マーカーセット(ボスカ等) ・ハサミ ・ポンド ・両面テープ ・色画用紙セット ・折り紙セット ・ホッチキス ・輪ゴム(2~3コ)</p> <p>松田先生クラスのみ: ・新聞紙(6~7枚) ・えのぐセット(パレット・筆・水入れ) ・ハサミ ・折り紙セット ・セロテープ ・のり・両面テープ ・色鉛筆 ・パスまたはクレヨン ・空箱(B5サイズくらい) ・毛糸(太め)一巻き(色自由) ・ティッシュ・テキスト</p>								